SONY

5-031-529-**03**(1)

5031529030

レンズ交換式デジタルカメラ

α7Ⅳ

Eマウント

スタートガイド

ILCE-7M4

環境に配慮した包装材を使用しています

カメラや付属品に使用している包装材は環境に配慮したものを使用しています。
包装材の特性上次の点にご注意ください。

- カメラや付属品に包装材の粉などが付着することがあります。その場合は、市販のブロアーやクリーニングペーパーなどで取り除いてからお使いください。
- 包装材は連続使用することで劣化します。製品の持ち運びに使用される場合はご注意ください。

本機のマニュアルについて

ヘルプガイド（Web取扱説明書）

https://rd1.sony.net/help/ilc/2110/ja/

ILCE-7M4　ヘルプガイド

このスタートガイドは、本機をはじめてお使いになるときに必要な準備、基本的な使いかたなどを説明しています。
詳しい使いかたは、ヘルプガイド（Web取扱説明書）をご覧ください。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→ 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡ ❶ 電源を切る ❷ 電池をはずす ❸ 相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

本書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く　指示

電池について

安全のための文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

準備する

付属品を確認する

（　）内の数字は個数です。

- カメラ（1）
- ACアダプター（1）
- リチャージャブルバッテリーパック NP-FZ100（1）
- USB Type-C®ケーブル（1）
- ショルダーストラップ（1）
- ボディキャップ（1）（本機に装着）
- シューキャップ（1）（本機に装着）
- アイピースカップ（1）（本機に装着）
- スタートガイド（本書）（1）
- 保証書（1）

各部の名称

各部の名称については、下記からヘルプガイド（Web取扱説明書）でご覧ください。

https://helpguide.sony.net/ilc/2110/v1/ja/contents/TP1000428442.html

基本的なアイコン

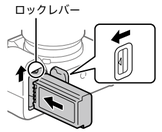
基本的なアイコンについては、下記からヘルプガイド（Web取扱説明書）でご覧ください。

https://helpguide.sony.net/ilc/2110/v1/ja/contents/TP1000428449.html

バッテリーをカメラに入れて充電する

1 バッテリーをカメラに入れる。

- バッテリーカバーを開け、ロックレバーを押しながら入れます。

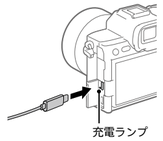


2 カメラの電源を切る。

- カメラの電源を入れた状態では、充電は行われません。

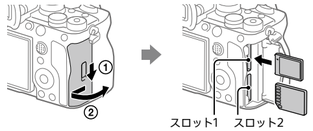
3 バッテリーを入れたカメラとACアダプター（付属）をUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。

- 充電が始まると、カメラの充電ランプが点灯します。充電ランプが消灯したら、充電完了です。



メモリーカードをカメラに入れる

本機では、CFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカードを使うことができます。
スロット1：CFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカードの両方に対応
スロット2：SDメモリーカードにのみ対応



メモリーカードカバーを開け、スロット1にメモリーカードを入れる。

- お買い上げ時は、スロット1のメモリーカードに画像が記録される設定になっています。
- 記録するスロットは、MENU → （撮影）→［メディア］→［記録メディア設定］→［記録メディア］または［記録メディア］で変更できます。
- CFexpress Type Aメモリーカードはラベル面をモニター側に向けて、SDメモリーカードは端子面をモニター側に向けて、「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。

ヒント

- メモリーカードの動作を安定させるために、本機ではじめてお使いになるメモリーカードは、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。

レンズを取り付ける

1 カメラのボディキャップとレンズの後ろのレンズリヤキャップをはずす。

2 レンズとカメラの2つの白色の点（マウント標点）を合わせてはめ込む。

3 レンズを軽くカメラに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズの取り付け／取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付けてください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- フルサイズでの撮影は、フルサイズ対応のレンズを使用してください。
- ズームやピント合わせなどで繰り出たレンズ部分を持って、カメラを保持しないでください。

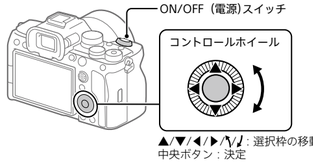
カメラの初期設定を行う

カメラとスマートフォンをBluetooth接続（ペアリング）することで、日時設定などカメラの初期設定をスマートフォンから行うことができます。あらかじめ、専用アプリをお使いのスマートフォンにインストールし、「初期設定の手順」の1～3に従って設定してください。

専用アプリのインストール

以下のウェブサイトからインストールしてください。
また、専用アプリは最新版にアップデートしてお使いください。なお、専用アプリの仕様は予告なく変更されることがあります。
https://www.sony.net/ca/

初期設定の手順



1 ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にして、カメラの電源を入れる。

- プライバシー通知の画面が表示されます。スマートフォンなどで、リンク先にある生体認証に関するプライバシー通知をよくお読みください。

2 コントロールホイールの中央を押す。

3 カメラの画面の指示に従って、カメラとスマートフォンの接続、およびカメラの初期設定を行う。

- 初期設定時の設定は、あとでカメラのメニューから設定/変更することもできます。

あとからカメラとスマートフォンを接続（ペアリング）するには

詳しい接続方法は、下記からヘルプガイドをご確認ください。
https://rd1.sony.net/help/ilc/2110_pairing/h_zz/

撮影する

静止画を撮影する

1 静止画/動画/S&Q切換ダイヤルを（静止画）にして、静止画撮影モードにする。

2 モードダイヤルを回して好みの撮影モードを選ぶ。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

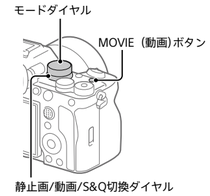
動画を撮影する

1 静止画/動画/S&Q切換ダイヤルを（動画）にして、動画撮影モードにする。

2 モードダイヤルを回して好みの撮影モードを選ぶ。

3 MOVIE（動画）ボタンを押して撮影を開始する。

4 もう一度MOVIE（動画）ボタンを押して終了する。



ヒント

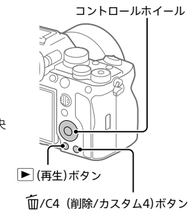
- お買い上げ時の設定では、MOVIE（動画）ボタンに動画撮影開始/停止機能が割り当てられています。手順1で動画撮影モードに切り替えなくても、MOVIE（動画）ボタンを押すと静止画撮影モードからも動画撮影を開始できます。

再生する

1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールで画像を選ぶ。

コントロールホイールの左/右で、前の画像/次の画像に移動します。
動画を再生するには、コントロールホイールの中央を押してください。



表示中の画像を削除する

削除したい画像を表示した状態で/C4（削除/カスタム4）ボタンを押し、コントロールホイールで［削除］を選びます。
一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

MENU一覧

カメラの設定メニューについては、下記からヘルプガイド（Web取扱説明書）でご覧ください。

https://helpguide.sony.net/ilc/2110/v1/ja/contents/TP1000428450.html

パソコンで写真や動画を管理・編集する

本機では、下記のパソコン用ソフトウェアで写真や動画を管理・編集することができます。

Imaging Edge Desktop

パソコンからカメラを操作するリモート撮影や、カメラで撮影したRAW画像の調整・現像などの機能を含むソフトウェアシリーズです。

Catalyst Browse（無償）/Catalyst Prepare（有償）

Catalyst Browseは、撮影した動画ファイルのプレビューやメタデータの確認や編集、メタデータを使った手ブレ補正*、カラー補正、ローカルハードディスクへのコピー、さまざまな形式へのトランスコードなどが可能です。
Catalyst Prepareは、Catalyst Browseの機能に加えて、ピンによるクリップ管理やストリーボードを使った簡単なタイムライン編集などをすることができます。
*手振れ補正機能を利用するための条件は、サポートページをご確認ください。

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。
https://www.sony.net/disoft/

本機について／使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください

ヘルプガイド（Web取扱説明書）の「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

表示言語について
本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機の取り扱いについてのご注意
- 本機は防じん・防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。
- レンズやファインダーを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 太陽光や強い光源がレンズからカメラに入ると、カメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。本機の保管時はレンズキャップを取り付けて保管してください。また逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。光源を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがありますのでご注意ください。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。
- 本機（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。
- ボリュームは徐々に上げてください。突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品やメモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

モニターおよびファインダーについてのご注意
- モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る可能性があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 万一モニターやファインダーが破損した場合は直ちに使用を中止してください。破損した箇所で手や顔等を切る等の怪我をする恐れがあります。

連続撮影時のご注意
連続撮影時、モニターまたはファインダーに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターやファインダーを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意
- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。
  - 気温の高い環境でご使用になる場合
  - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
  - 自動電源OFF温度を［高］に設定してご使用になる場合

メモリーカードの取り扱いについてのご注意
- 記録終了後はメモリーカードが熱くなっていることがありますが故障ではありません。
- モニターに［!］（温度上昇警告アイコン）が表示されたときは、カメラからメモリーカードをすぐに取り出さず、しばらくカメラの電源を切るなどして時間をおいてからメモリーカードを取り出してください。熱くなっているメモリーカードを触ってしまうと、メモリーカードを落下させるなどしてメモリーカードが破損してしまうことがあります。メモリーカードを取り出すときは充分ご注意ください。

三脚をお使いになるときのご注意
三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長さが5.5 mm以上の場合、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

ソニー製純正レンズ/アクセサリーをお使いください
本機を他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

ACアダプター /チャージャーについて
ACアダプター /チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。

著作権についてのご注意
あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

位置情報についてのご注意
スマートフォンの専用アプリを使って位置情報連動された状態で、本機で撮影した静止画や動画をインターネットに公開、共有すると、意図せずに第三者に撮影場所が知られる場合があります。その場合は専用アプリの［位置情報連動］をオフにして撮影してください。

本機の廃棄/譲渡についてのご注意
個人情報保護のため、本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。
- ［設定リセット］ → ［初期化］

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意
本機やパソコンの機能による［フォーマット］や［削除］では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

ネットワーク機能についてのご注意
ネットワーク機能を使用する際、使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から本機にアクセスされる可能性があります。例として、ネットワーク機器が無許可でネットワークに接続されている、あるいは接続することができるネットワーク環境では、本機に不正なアクセスをされる可能性があります。こうした環境への接続によって損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN 5 GHz帯についてのご注意
ワイヤレスLANの5 GHz帯は屋外では使用できません。屋外でワイヤレスLAN機能を使用するときは、以下の手順で使用する帯域を2.4 GHz帯に設定してください。
- MENU → （ネットワーク） → ［Wi-Fi］ → ［Wi-Fi周波数帯］

無線に関連する機能（Wi-Fiなど）を一時的に無効にする
無線に関する機能は、［機内モード］で一時的に無効にできます。

無線機能使用上のご注意
本機の無線機能は、国や地域によって法規制により使用できない場合があります。
お使いになる際は、その国や地域の法規制にしたがってください。

本機が出す電波が計器や医療機器等に影響を与える恐れがあるため、飛行機内、病院で無線使用の際は、航空会社、病院の指示に従ってください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項
本製品は2.4 GHz帯を使用しています。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。

2.4XX8　2.4DS2/OF2

2.4：2 400 MHz帯を利用する無線設備を表します。
DS/OF/XX：変調方式がDS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。
2：想定される与干渉距離が20 mは下であることを示します。
8：想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。
▬▬▬：2 400 MHz ～ 2 483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。
▬ ▬ ▬：2 400 MHz ～ 2 483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

IEEE802.11b/g/n

5 GHzワイヤレスLAN搭載モデル

IEEE802.11a/n/ac

J52	W52	W53	W56

5 GHzワイヤレスLANの屋外使用は法令により禁止されています。

認証マークの表示について
本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。
MENU → （セットアップ） → ［セットアップオプション］ → ［認証マーク表示］を選択してください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません
万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
ヘルプガイド（Web取扱説明書）などを参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について
この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について
当社はカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

主な仕様

本体

［形式］
カメラタイプ：レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ：ソニー Eマウントレンズ

［撮像部］
撮像素子：
35mmフルサイズ（35.9 mm×23.9 mm）、CMOSイメージセンサー
カメラ有効画素数：約33 000 000画素
総画素数：約34 100 000画素

［ファインダー］
形式：1.3 cm（0.5型）電子式ビューファインダー

［モニター］
7.5 cm（3.0型）、TFT駆動、タッチパネル

［電源・その他］
定格：7.2 V ⎓、3.8 W
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－20 ～ 55 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）（約）：
131.3×96.4×79.8 mm
131.3×96.4×69.7 mm
（グリップからモニターまで）
質量：約658 g
（バッテリー、SDカードを含む）

［ワイヤレスLAN］
対応規格：IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
使用周波数帯：2.4 GHz/5 GHz帯

ACアダプター AC-UUD12/AC-UUE12/AC-UUE12 T

定格入力：100 – 240 V ∼、50/60 Hz、0.2 A
定格出力：5 V ⎓、1.5 A

リチャージャブルバッテリーパック NP-FZ100

定格：7.2 V ⎓

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- XAVC Sおよび XAVC S はソニーグループ株式会社の商標です。
- XAVC HSおよび XAVC HS はソニーグループ株式会社の商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

安全のために

⚠危険　漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

バッテリー
バッテリーを誤って取り扱うと、バッテリーが破裂して火災や化学的な火傷が発生することがあります。以下の注意を守ってください。

禁止
- 分解や改造をしない。
- ハンマーなどで叩いたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を加えない。
- ショートさせたり、クリップなどの金属をバッテリー端子に接触させない。
- 直射日光下の車中など、60 ℃以上の高温の場所にさらさない。
- 焼却したり、火の中に入れたりしない。
- 液漏れや、破損したリチウムイオン電池を取り扱わない。
- バッテリーは指定された方法以外で充電しない。
- 乳幼児、子供の手の届く場所に置かない。
- ぬらさない。
- バッテリーはソニー純正品を使う。
- -20 ℃以下の過度の低温や11.6 kPa以下の極端な低圧にさらさない。

⚠危険
電池を飲み込まないでください。化学やけどの原因となります。
本製品には、コイン/ボタン電池が内蔵または同梱されています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、2時間程度で重度の内臓のやけどを引き起こし、死亡に至ることがあります。
新しい電池や使用済みの電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池カバーがしっかりと閉じない場合は、使用をやめ、子供の手の届かないところに保管してください。
電池を飲み込んだり体のどこかに入れたりしたと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
コイン/ボタン電池は充電しないでください。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解禁止
分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

禁止
内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない
自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない
使用中に本機や付属品が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

ケーブル類を傷つけない
熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない
- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1 m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

カメラのファインダーや取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない
視力障害や失明の原因となります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で使用しない
感電の原因になることがあります。

指示
電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける
正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

禁止
レンズやモニターに衝撃を与えない
レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

レンズが直射日光にあたる場所に放置しない
光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

ブラケット等を介し、他のアクセサリーも取り付けた状態で使用する場合、取扱いに注意する
落下等により、不慮の事故の原因となります。

プラグをコンセントから抜く
長期間使用しないときは，電源を外す
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。

Li-ion
リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部をビニールテープなどで絶縁してリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.com/ を参照してください。

最新のサポート情報を確認する

『α』専用サポートサイト
製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。
https://www.sony.jp/support/ichigan/

アクセサリー対応情報
本機に対応したレンズやアクセサリーなどを掲載しています。
https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **https://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **050-3754-9577**

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **050-3754-9599**
※付属品の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）　0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

https://www.sony.co.jp/

©2023 Sony Corporation　Printed in Thailand